

聖書

ローマ人への手紙5章1～5節

5:1 ですから、信仰によって義と認められた私たちは、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を持っています。

5:2 またキリストによって、いま私たちの立っているこの恵みに信仰によって導き入れられた私たちは、神の栄光を望んで大いに喜んでいます。

5:3 そればかりではなく、患難さえも喜んでいます。それは、患難が忍耐を生み出し、

5:4 忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと知っているからです。

5:5 この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。

説教
神の栄光に生きる

前回は5章1節を中心に
神との平和
を学びました。

ローマ書5章を何度も何度も繰り返し読んでいます。

今日は主が与えて下さる
神の栄光

について学んで行きたいと思います。

5:1 ですから、信仰によって義と認められた私たちは、私たちの主イエス・キリストによって、
神との平和を持っています。

5:2 またキリストによって、いま私たちの立っているこの恵みに信仰によって導き入れられた私たちは、
神の栄光を望んで大いに喜んでいます。

神の栄光を望んで大いに喜んでいます。(2節)

神の栄光については3章23節と深い関連があります。

凡ての人、罪を犯したれば
神の栄光を受くるに足らず、(大正訳)
人は皆、罪を犯して
神に栄光を受けられなくなっていますが(新共同訳)

すべての人は、罪を犯したので、
神からの栄誉を受けることができず、(第三版)

すべての人は罪を犯して、
神の栄光を受けることができず、(2017年訳)

3章23節で神の栄光を受けることが出来なくなっていた
5章2節で神の栄光にあずかる望みを喜んでいると
告白しています。

救われた事、義と認められた事で
大きな変化が起こっています。

神の栄光とは何でしょうか。

偶像を神としている日本人の神概念、風土に於いては神の栄光、栄光の神は理解しにくいテーマです。

死人が神となったり、動物を神としたり、金属、陶器、彫刻で出来たものを神としている宗教文化、人格神の概念のない世界に於いては神の栄光、栄光の神は理解しがたい概念。

神とはどんなお方ですか。
どうしたらその神様を知ることが出来ますか。
ウエストミンスター小教理問答
問4 神はどのようなお方であるか。

答え 神は、その存在と知恵、力、聖、義、善、真実に於いて無限、永遠、不変の霊である。

靈

永遠、無限、不変
存在、知恵、力、聖、義、善、真実

神はこのようなお方ですから
栄光の神であります。

神の栄光にあずかって生きる ①

神に似せて創造されている

人間はこの栄光の神様のかたちに、
神様に似せて、神様の人格に似せて、
神様と交わるように創造されました。

存在、知恵、力、聖、義、善、真実に於いて
神のかたちに、神様に似せて、このような
性質、特質に与るもの、これらをいただき、
付与されて創造されました。

進化の産物ではない。

神の栄光にあずかって生きる ②

栄光の神と交わって生きる

人間が罪を犯す前は

エデンの園でアダム・エバは

神様とあるがままの交わり、裸の交わり、
隠す、隠れる必要のない交わりをしていました。

栄光の神と真実、隠すところのない、

平和な交わりをしていました。

神の平和、神の栄光を享受する生活を送っていました。

神の栄光にあずかって生きる ③
栄光の神のために生きる

あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。
ですから自分のからだをもって、神の栄光を現しなさい。

コリント第一6章20節

こういうわけで、あなたがたは、食べるにも、飲むにも、何をす
るにも、ただ神の栄光を現すためにしなさい。

人間は罪を犯して神様の栄光を失いました。

罪を犯した人間は

存在、知恵、力、聖、義、善、真実
において不完全な存在。

神の輝きが失せて

不義、罪、汚れ、偽りにまみれた存在に転落。

エデンの園に悲劇が起りました。

アダム・エバが食べてはいけないと言われていた
善悪の知識の木の実を食べると言う罪を犯したため、
神と人類に分断が生じ、

人間の世界に罪が侵入して来ました。

神との平和が壊れてしまいました。

光なる神に近づくと人間の罪、汚れが露出されます。

神との裸での交わりが破壊されてしまいました。

栄光の神から逃げるようになりました。

神の栄光を受けることが出来ない存在。

神の光に照らされれば

汚れ、罪のみが暴露、暴かれ

栄光の神に近づけば、焼き尽くされるより他のない汚れた存在が人間であります。

真実の神、光の神、栄光の神から

逃げなければならぬ存在になってしまった。

栄光の神様との平和、交わりが壊れてしまいました。

神様は皮の衣なるイエス様を救い主として
この世界に遣わしてくださいました。
信じる者は衣を着て義とされ、
罪、汚れが覆い隠されることになりました。

イエス様を信じることにより
この栄光の神様との交わりが許され、
回復するようになりました。
キリストの衣を着させていただいたので
私たちの罪、ボロ、汚れが覆い隠されました。
神様は私たちの汚れを見られないで
着ている衣、義なるキリストをご覧になってくださいます。

ここに神様との平和、透明の交わりが回復して、
私たちは神様から逃げなくても良い、
隠れなくても良い存在、良い関係になりました。
神様との平和、栄光が回復しました。

イエス様を信じて救われたこと、
義とされたことを

キリストの衣を着させていただいたと表現しています。

義と宣言される法的な面、義の衣を着ています。

救いはそれだけではなく、
新しく生まれ変わったと言う
実態の変化も起こっています。

キリストと交わりが回復したこと、
霊的に死んでいた者がよみがえりを経験した。
私たちの心の中の霊は神から離れて死んだような存在で
したが、神様とつながって息を吹き返しました。

新しく生まれたことによって
傷ついた壊れた汚染された私たちに
神に似せて創られた
神の栄光が回復し始めています。

死んでいた霊が生き返ったことにより働き始め
汚染された存在、知恵、力、聖、義、善、真実と言う
性格、人格、キャラクターの回復作業、
復活が始まっています。

パウロも交わり伝道で人とぶつかることが多々あった。
神の形に作られた性格がひずんだりへこんだりして
罪の汚染の名残に苦しんでいましたが、
聖められる信仰に立って
神の栄光にあずかる望みを喜んでいます。

これは天国へ行くときに完成します。

信じた者は義とされ、

聖くされる信仰の歩みが始まります。

やがて天国に入る時、聖化は完成して
栄光の姿に変えられます。

この地上の歩みは聖化は完成途上です。未完成です。

まだまだ弱さ、汚れ、罪の残骸が残っています。

時々出没して私たちは悩みます。

でも天国で聖化が完成します。

救われた私たちは人生の目的を持つことができます。

それは神の栄光を現すことです。

ウエストミンスター小教理問答

第一問

人の生きる主な目的は何ですか。

答え

人の生きる主な目的は神の栄光を現し、

神を喜ぶことであります。

生きる目的
神様の栄光を現すことでもあります。

日本人の人生の目的観

歌に現れる日本人の人生目的観
ふるさと
志を果たして 何時の日にか かえらん

仰げば尊し
身を立て 名をあげ やよ励めよ
今こそ別れめ いざさらば

立身出世

聖書は立身出世ではなく
神様に喜ばれる人生、
神様の御心に生きる人生、
水、一杯でも必要な方に与える

H₂Oの水であっても、イエス様という生ける永遠のいのちにつながるいのちの水を分かち合って行く人生は幸な人生。

このようにして人が栄光の神の救いに与るように
祈り、小さな働きを続けることが
神の栄光のために生きる人生であります。

ヨブ記を読んでいます。

イチジクの葉っぱのような外套、飾りが、身分、立場が奪
われても、威光、尊厳は奪われていない。

外に身をつけているものが剥奪されても
神の栄光が私たちの内に輝いています。

主の栄光を現して歩みましょう。

祈り